

青森県弘前市^{したど てまち}下土手町地区

本地区は、当市の中心市街地区域のほぼ中央に位置する下土手町商店街に立地し、商業施設が集積している地域にあるが、近年、歩行者通行量が減少し、空き店舗・空き地が目立ってきている。

このため、商業施設の整備に加え、本事業の活用により、学生や高齢者など多世代間の交流拠点となる多目的ホールや地域交流室、多目的広場等を備えた複合施設を新たに整備することにより、同地区及び周辺地区の回遊性を高め、賑わいを創出することで中心市街地の活性化を図る。



所在地 青森県弘前市大字土手町31番地

地区面積 約0.15ha

総事業費 約3.2億円 うち補助対象額約2.5億円（うち国費約97百万円）

- 経緯**
- 平成20年 7月 中心市街地活性化基本計画認定
 - 平成23年 3月 暮らし・にぎわい再生事業計画同意
 - 平成23年 6月 調査設計等着手
 - 平成23年12月 B館ごちそうプラザ整備着工（経済産業省所管補助金活用）
 - 平成24年 7月 A館コミュニケーションプラザ、多目的広場整備着工
 - 平成24年10月 B館ごちそうプラザオープン（予定）
 - 平成24年12月 A館コミュニケーションプラザオープン（予定）

活用メニュー	施設名称	主な用途	事業期間	事業主体	施行者
都市機能まちなか立地支援	土手町コミュニティパーク A館 コミュニケーションプラザ	公益施設（地域交流施設：多目的ホール、地域交流室、起業家支援スペース）	H23～H24	弘前市	㈱アップルコミュニケーションズ
関連空間整備	ポム広場	多目的広場	H23～H24	弘前市	㈱アップルコミュニケーションズ

補助対象内容ならびに金額

（単位：千円）

活用メニュー	費目	補助対象額	うち国費
都市機能まちなか立地支援	調査設計計画費	26,945	10,778
	土地整備費	25,095	9,773
	まちなか立地に伴い追加的に必要な施設整備費	33,173	13,269
	賑わい交流施設整備費	115,237	44,433
	供給処理施設整備費	24,331	9,732
	小計		224,781
関連空間整備	その他施設整備費	29,365	9,788
	小計	29,365	9,788
計		254,146	97,773

*1/15 加算地区

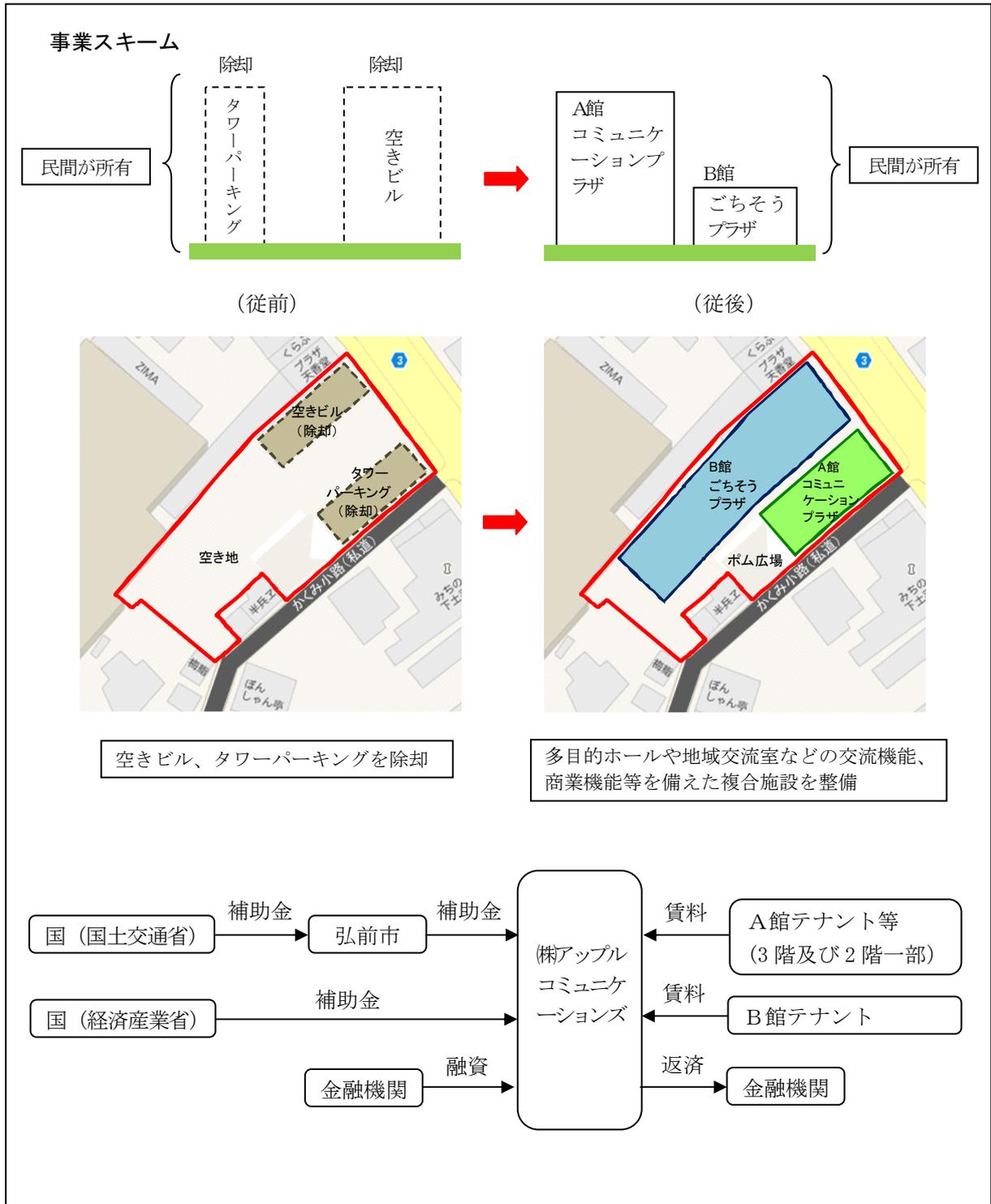
したど てまち
青森県弘前市下土手町地区

事業収支

(単位：千円)

収入		支出	
暮らし・にぎわい再生事業（国土交通省）※1	97,773	調査設計費	26,945
社会資本整備総合交付金（効果促進事業）	2,558	土地整備費	25,095
暮らし・にぎわい再生事業（弘前市）※2	100,331	工事費	432,419
戦略補助金（経済産業省）	75,000		
自己資金	10,000		
融資（みちのく銀行）	198,797		
計	484,459	計	484,459

※1 社会資本整備総合交付金の額を含む。 ※2 社会資本整備総合交付金（効果促進事業）対象事業分を含む。



土手町コミュニティパーク
A館コミュニケーションプラザ

活用補助メニュー 都市機能まちなか立地支援
関連空間整備

都市機能立地の方針・概要

空きビル、タワーパーキングを解体除却し、多目的ホール、地域交流室、起業家支援スペース等が入居するA館コミュニケーションプラザと多目的広場を整備。

事業主体 弘前市

施行者 (株)アップルコミュニケーションズ

事業期間 平成23年6月～平成24年12月 (予定)

敷地面積 約1,522.41㎡ 延床面積 約764.44㎡ 建築面積 約300.46㎡

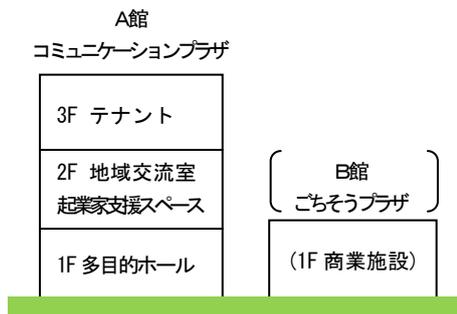
階数 3階建



都市機能導入施設の主要用途

公益施設 (地域交流施設：多目的ホール、地域交流室、起業家支援センター)、多目的広場

所有および管理状況



名称	床所有者	延床面積 (㎡)	管理運営主体	管理運営形態	土地所有者	従後権利設定
A館 コミュニケーションプラザ						
多目的ホール	(株)アップルコミュニケーションズ	240.28	(株)アップルコミュニケーションズ	直営	【従前】 (株)アップルコミュニケーションズ ほか民間事業者1名	【土地】 所有権 一般定期借地権
地域交流室		34.43				
起業家支援スペース		70.21		賃貸 (弘前市)		
テナント		270.10				
共用部分		149.42				

問合せ先	弘前市商工観光部商工労政課 TEL:0172-35-1135 FAX:0172-35-1105 E-mail:shoukou@city.hirosaki.lg.jp
------	--